学校番号	T0308

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（通）地理 B	単位数	4 単位	年次	2 年次
使用教科書	「新詳地理 B」（帝国書院）、「基本地図帳改訂版」（二宮書店）						
副教材等	パワーポイントによる資料提示						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図の見方や地理的素養を身につけてほしい。
・世界各地の文化の多様性に関心を持ってほしい。
・グローバルな広い視点で考察する力を養ってほしい。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、地理的思考力を培う。
・現代世界の地理的諸課題を考察する力を養う。
・地理的諸課題を地域性や歴史的背景と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的諸事情や諸課題について興味・関心を持って意欲的に学習し理解しようと努めたか。	現代世界の地理的諸事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ地理的見方や考え方から考察することができたか。	地図の読図や衛星画像などの読み取りなどの地理的技能を身につけ、資料や地理情報の活用能力が身についたか。	現代世界の地理的事象についての基本的な知識を身につけ、相互の関連性や課題を理解することができたか。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地理情報と地図	・現代世界の地図 ・地理情報の地図化 ・世界の大地形 ・その他の地形	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○	a:地図の種類とその利用について地理的事象を捉える知識と技能を身につける。 b:地理情報の地図化について統計地図化などの活動を通して地理的技能を身につける。 c:世界の地形について営力的な視点で分類し生活圏の地域的特色を考える。 d:災害と恩恵などの地理的要因を学習し適切な知識を獲得する。	レポート 定期考査
	世界の気候と環境問題	・気候の成り立ち ・世界の気候区分 ・日本の自然災害と防災 ・さまざまな環境問題	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○	a:大気の大循環と気候の地域性・世界の気候区分・各地域の自然と生活について理解させる b:気候要素と気候因子の関係から、それぞれの気候区分の特徴と人間生活への影響を考察する c:日本の自然の特徴と人々の生活について地理的角度から学習し、防災の在り方について考える。 d:世界の環境問題について、その成因や特徴、対策について大観し、地球温暖化・砂漠化・森林破壊についての事例を考察し、日本の環境問題の特徴と対策について考える。	レポート 定期考査
	世界の産業と資源・エネルギー問題	・世界の農林水産業 ・世界の食料問題 ・エネルギー資源の利用と分布 ・鉱産資源の分布	○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:世界の農林水産業について、農業地域区分や現代社会の農林水産業の課題、および世界の中での日本の農林水産業を考える。 b:食料問題について世界の食料需給のかたよりを大観し、先進国・発展途上国・日本についての事例を考察する c:世界のエネルギー資源についてその分布と利用について学習する。 d:鉱産資源の分布を大観し、資源をめぐる生産や消費の抱える課題等の世界のエネルギー問題を考察する。	レポート 定期考査

2学期	世界の工業、交通・貿易とさまざまな問題	・世界の工業 ・世界の交通と貿易 ・世界の人口問題 ・世界の領土・宗教問題	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a:世界の工業についてその発達や立地、地域的特色について学習し、その課題について考察する。 b:交通や通信手段の発達による世界の一体化と各地域を考察する。 c:世界の各地域の人口分布を資料を用いて学習し、グローバルな視点からその課題を考察する。 d:世界各地の紛争地域を調べることで、世界の領土問題や宗教対立解消へむけての方策を考える。	レポート 定期考査
	世界各地の生活・文化	・中国 ・朝鮮半島 ・東南アジア	○ ○ ○	○ ○ 	 ○	○ ○ ○	a:自然環境と生活、歴史と民族、産業と発展の学習を通じて、多様な自然環境・豊富な地下資源と人口分布や産業発展の偏りを理解し今後の課題および日本との今後の関係について考察する。 b:自然環境と生活との関わり、韓国の経済発展と課題を学習し、今後の朝鮮半島と日本との関係について考察する。 c:自然環境・歴史と宗教、農工業の学習を通して文化の多様性や経済発展について理解させる。。 d:モンスーンアジアの農業と緑の革命について理解させる。	レポート 定期考査

3学期	世界各地の生活・文化	・南アジア ・中央アジア。西アジア・北アフリカ ・サハラ以南アフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:自然環境歴史と宗教、農業、工業の学習を通じて、自然環境と農業の関わりを理解させるとともにイスラム教と生活・文化について学習し石油資源やパレスチナ問題を考察することで中東諸国と日本との今後の関係について学習する。 b:ヨーロッパの自然環境・歴史・文化を学ぶとともに EU 統合による現状と課題を理解させ今後の日本との関係について考察させる。 c:アメリカの自然環境と開拓の歴史を学習しアグリビジネスや先端技術産業を理解させるとともにこれからのアングロアメリカと日本との関係について考察させる。 d:ラテンアメリカおよびオセアニアの自然や農工業の学習を通してこれからの日本との関係について考察させる。	レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。